

ないせい

高石市立清高小学校

編集・発行 末本 裕喜

地域の公園は、自分たちの手で

授業で、公園は何のためにあるのだろうかと子どもたちと考えました。

(出た意見)

- みんなが遊ぶ場。 • 運動する場。 • 自分の気持ちをリラックスさせる場所。
- 自分の飼っている犬との触れ合いの場。 • きれいな花を見る場所。
- みんなと一緒にいることのできる場。 • くつろぐ場。 • 待合場所。
- 小さい子どもが安心して遊んだりできる場。

そんな中、公園の砂場や腰掛けるベンチ下にタバコが捨てられていることがあります。その行為は、たぶん悪意を持ってやっているわけではないと思います。しかしながら、「きれい。」と感じたり、「小さい子どもが安心して遊んだりできる場。」としては不適切な環境と言えるでしょう。そんな行為を少しでも減らしていくためにどうすればいいのでしょうか？ 自分がしていないから、関係ないと思うのではなく、考える必要はあると思います。ちなみに、この授業でも、結局このような(小さいか大きいとも言えないかもしれないが)小さな環境悪化だとしても、少しずつ人の心をむしばんでいき、最終的にはみんなが不幸せになると答えてくれた人がいました。きれいと思える場所は、人の心を豊かにするが、きれいでないと思える場所は、さらに悪化して人の心がすさんでいくと答えてくれた人もいます。

もう一度、人ひとりが真剣に考えたい課題ということを明らかにしてくれた子どもたちであったと思います。

【すくすくウォッチの子どもたちの振り返りより】

4月に実施した大阪府の学カテスト(すくすくウォッチ)において、子どもたちが自分で自己採点し、自分の課題に対して、自主的に取り組みました。

子どもの振り返りより

- エネルギーや天体をがんばろうと思った。 • 先生の話をよく聞く。
- 復習する。 • なんて間違えたのか理解してから解く。
- 文章をしっかりと読む癖をつける。 • 苦手なところに時間をかける。

- ・プリントを復習する。　・字をきれいに書く。　・ミライシードで復習する。
- ・本を毎週1冊読む。　・自分で問題をつくってみる。　・問題を一杯やってみる。
- ・毎日、本や新聞を読む。　・出来なかった問題を1か月後にもう一度する。
- ・苦手な所に時間をかけて頑張る。　・塾に行きたい。　・自主勉強を頑張る。
- ・もう一度習ったところを復習する。　・ミライシードなどを毎日する。
- ・授業でもらったプリントをもう一度やり直しをする。
- ・間違ったところを中心に再度勉強する。　・九九を間違えないようにしたい。
- ・今まで、自分がわかってるつもりでいた先生の話もしっかり聞く。
- ・授業中、手を挙げる。(積極的に発言する)
- ・間違えすぎたから、何度もノートを見返す。　・単元について、くわしく頑張る。
- ・天気についてがんばろうと思った。　・昆虫のしくみをもう一回確認したい。
- ・しっかり間違った問題を復習する。　・なんで間違えたのか理解してから説く。
- ・文章をしっかり読む癖をつける。　・乾電池のつなぎ方を復習する。
- ・苦手なところに時間をかけて、ドリルをする。　・プリントを復習する。
- ・分からないところをそのままにしておかない。
- ・計算ドリルを毎日する。　・過去の勉強をもう一度振り返ってみる。
- ・問題を落ち着いて読む訓練をしたい。　・ローマ字をいっぱい練習する。
- ・計算を早くできるように練習する。　・図形を頑張る。
- ・割り算のひっ算のしかたを間違わないようにがんばる。
- ・割り算が苦手なので、しっかり勉強する。
- ・漢字や言葉の使い方をがんばって勉強する。

これらの子どもたちの意思表示は、

自分の課題を一生懸命考えて、出した考えばかりでした。

がんばれ！みんな。

先日(7/12)の児童朝会では、パスカルの「人間は考える葦である」という言葉を引用して

【考えることは困ったときに自分を助ける！】

ということを考えました。一度、ご家庭でもお話していただければ幸いです。